

年金の「見える化」Webサイトの基本コンセプトについて

資料2-1

厚生労働省年金局年金広報企画室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

目次

1. 年金の「見える化」Webサイトのデザイン
2. 個々人の年金の「見える化」のための取組み（民間事業者との連携）

事業の概要

令和2年の通常国会において、「年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律」（令和2年改正年金法）が成立した。この法律は、より多くの方がより長く多様な形で働く社会へと変化する中で、長期化する高齢期の経済基盤の充実を図るため、短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大、在職中の年金受給の在り方の見直し、受給開始時期の選択肢の拡大などを行うものである。



令和4年4月以降、この法律による改正が順次施行される予定であり、これらの内容は個人の年金受給の選択肢を拡大する内容であるため、国民の皆様に分かりやすい形で周知徹底することが重要である。

具体的には、この改正によって、例えば、

- ①短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大によって、これまで国民年金第1号被保険者であった方が、厚生年金に加入する場合や、
- ②受給開始時期について、65歳から73歳に変更する場合の受け取る年金額の変化を簡易にイメージできるようにする必要がある。

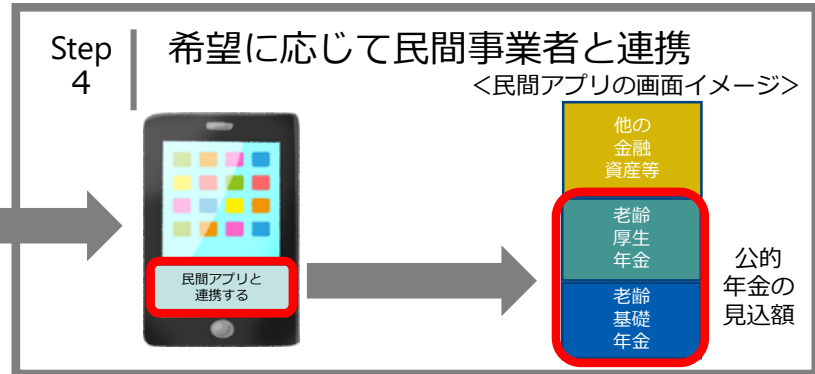
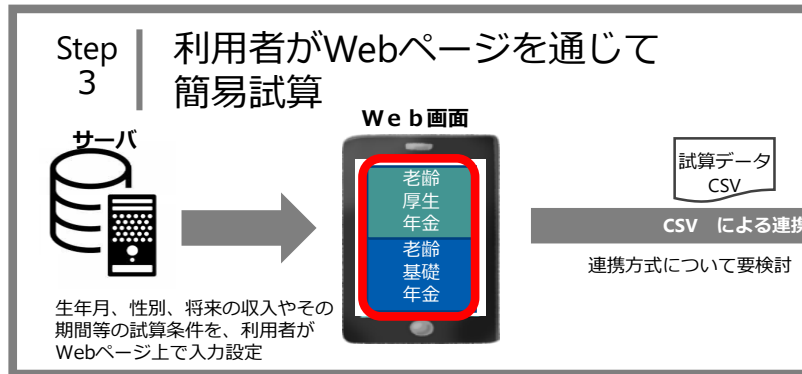
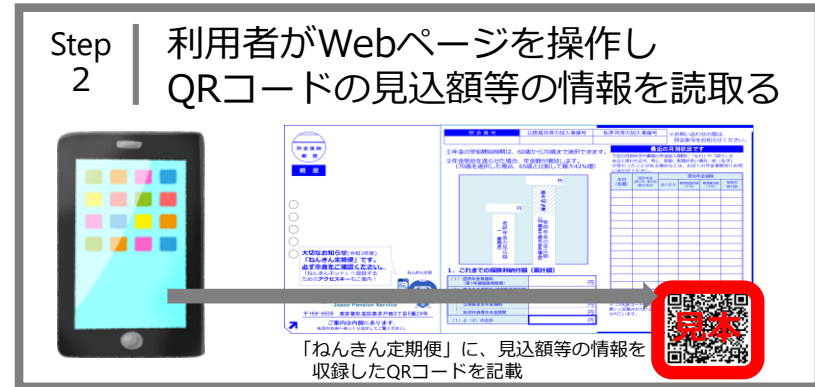
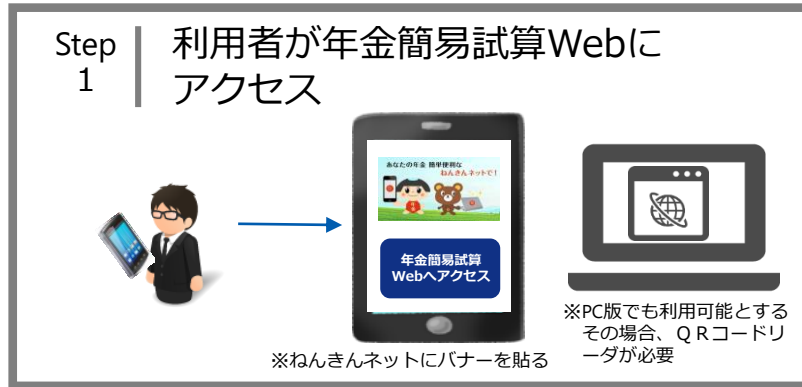
また、従来より、公的年金・私的年金を通じて、個々人の現在の状況と働き方・暮らし方の変化に伴う将来の見通しを全体として「見える化」し、老後の生活設計をより具体的にイメージできるようにするための仕組みを検討すべきとの指摘がある。

このため、①令和2年改正年金法を分かりやすく周知すること、②働き方・暮らし方の変化に伴う年金額の変化を「見える化」することを目的として、年金簡易試算Web（仮称）を開発する。



具体的な取り組み

- 令和3年度前半開発、テスト（運用実験）は令和3年度後半、公開は令和4年4月を予定している。
- 公開後は、「ねんきん定期便」や「社会保険適用拡大特設サイト」等と接続し、年金情報をわかりやすく発信予定。



令和3年度

令和4年度

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
簡易試算Webの開発 (厚労省)	広報検討会	開	広報検討会 発	テスト（運用実験）及びプログラム修正							サービス開始	
			広報検討会は順次開催									

第2部 デジタル社会の形成に向けた基本的な施策

2 徹底したUI・UXの改善と国民向けサービスの実現

(2) 公共フロントサービスの提供（ワンストップサービスの推進等）

⑤ 社会保険・税手続のワンストップ化・ワンスオンリー化の推進

(略)

また、公的年金、私的年金を通じて、個々人の現在の状況と将来の見通しを全体として「見える化」し、老後の生活設計をより具体的にイメージできるようにするための仕組みである年金簡易試算 Web について、令和4年（2022年）4月の運用開始を目指し、令和3度（2021年度）前半に開発、同年度後半にテスト（運用実験）を行う。

- 年金の「見える化」 Webサイトのデザイン

1-1 年金の「見える化」Webのデザインと機能

機能の基本コンセプトとシンプルかつシームレスな操作性を提供するためのWebデザインは以下のとおり。

QRコード読み取り機能

ねんきん定期便に付されたQRコードを読むことにより入力の手間を省き、手軽に試算



※ 上記のねんきん定期便のレイアウトは、令和3年度のねんきん定期便のレイアウトをベースに作成したイメージです。

ライフスタイルの多様化に合わせた試算機能

ライフスタイルの多様化

- ・就職、転職したとき
- ・配偶者の扶養になったとき
- ・退職した後、年金を受給しながら働くとき

に合わせて様々な人生の節目で簡単な試算を提供



見やすく操作性の良い試算結果表示機能

スウェーデンやデンマークなど北欧諸国のデザイン性が高く操作性の良い試算画面を提供

試算画面は行政が従来提供するWebページと比較して可読性が高くデザイン性が高いものを採用



民間事業者との連携を可能とする機能

年金試算結果を民間アプリと連携できるように、CSVデータとして保存する機能を提供



1-2 The Swedish pension dashboard - minPension

-from a user perspective



(出典)The Swedish pension dashboard – from a user perspective (2020) , minPension

1-2 The Swedish pension dashboard - minPension

- from a user perspective

The situation **before** the dashboard-
Changing pension landscape

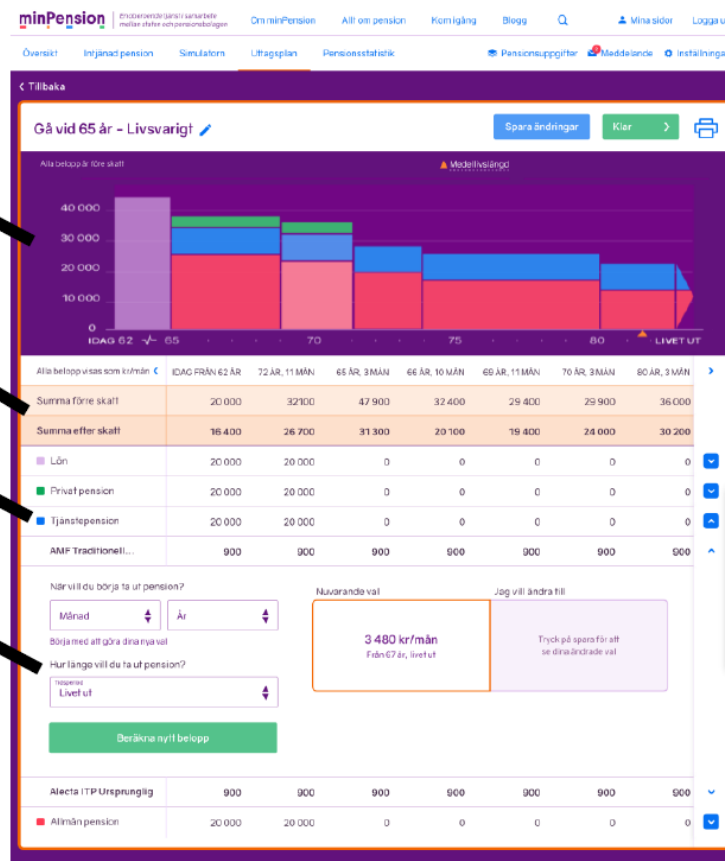
- From DB to DC
 - Mixed solutions
 - Unpredictable
 - Individual – increased spread
- Poor knowledge
- Too much information
- Complex



1-2 The Swedish pension dashboard - minPension

- from a user perspective

Retirement planner wizard



Overview of pension with breaking points

Tax calculation – net and gross

Drill down features on policy level

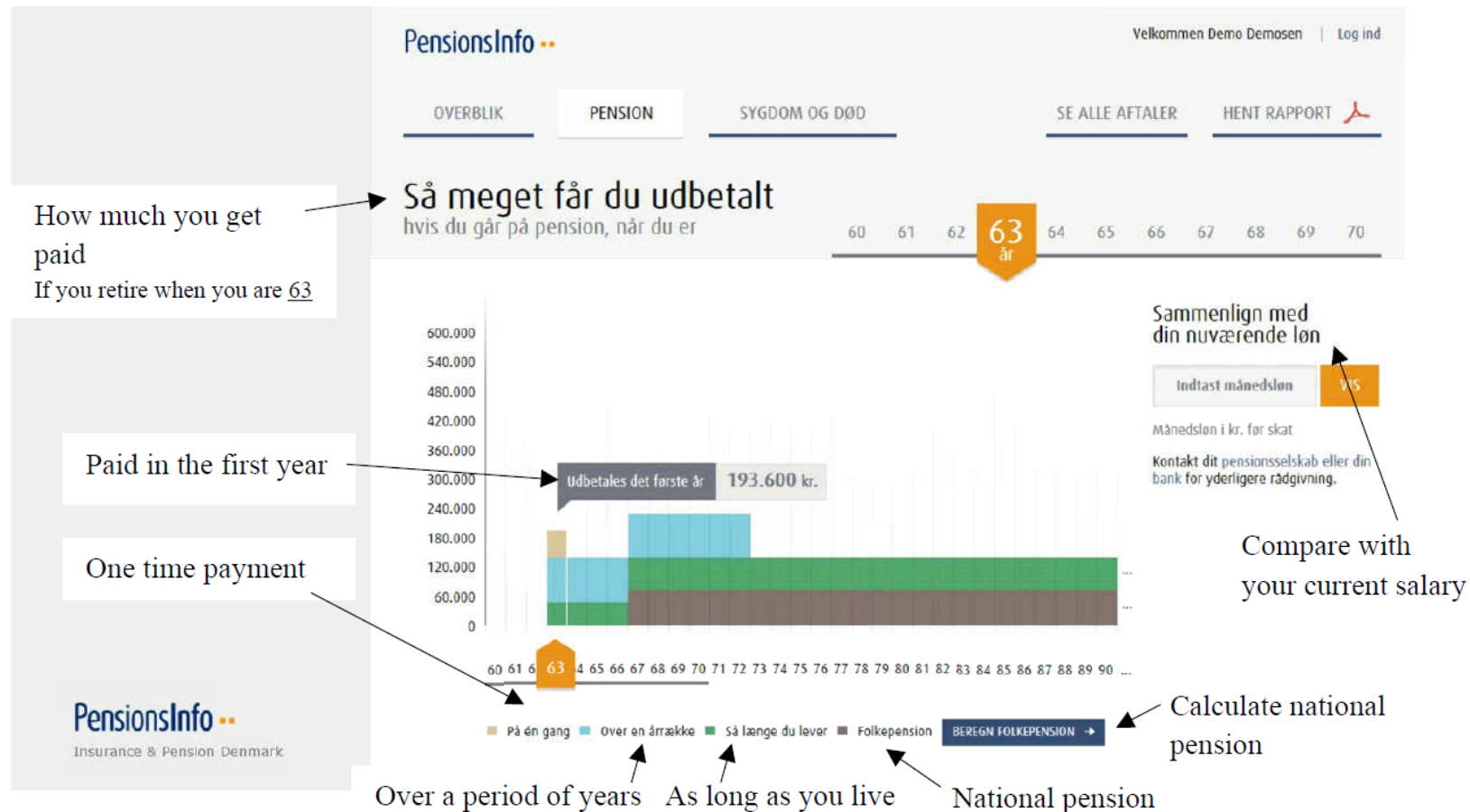
Simulation of different scenarios retirement age, withdrawal options on polycylevel

- Default options / profiles included
- Up to 99 scenarios
- More detailed information
- Wizard with to do's and reminders

Danish dashboard

: How much your pension will pay

Danish dashboard: How much your pension will pay



(出典) A Retirement Dashboard for the United States (2020) David C. John, Grace Enda, William G. Gale, J. Mark Iwry, Brookings

- **個々人の年金の「見える化」のための取組み**
(民間事業者との連携)

試行的な運用実験（民間事業者との連携）

- ❑ 年金簡易試算Web（仮称）における試算結果は、利用者の希望に応じて民間事業者が運営するアプリ等と連携し、表示できるようにすることを検討している。（Step 3 及びStep 4 参照）
- ❑ 具体的には、試算結果を、利用者の端末（スマホ、タブレット、PC）にCSV形式で保存できるようにし、当該保存データを民間事業者が運営するアプリ等において取り込むことによる連携を想定している。
- ❑ このため、これまで社会保険に関連するシステムやソフトウェア等の開発に携わったことがある一部の民間事業者に対して、厚生労働省年金局年金広報企画室から、行政協力（※）を依頼。年金簡易試算Web（仮称）が作成したCSV形式の試算結果を、民間事業者が正確に取り込めるかなどについて検証するとともに、更なる連携方策について検討することとする。
※民間事業者による、行政に対する無償での協力を想定
- ❑ なお、CSV形式の連携に関する検証については、今年度後半に予定している開発事業者によるテスト（運用実験）と並行して行う。

